

神戸市少年団登山教室山行（5月11日）報告

2024. 5. 12

1. 参加者

教室生参加者 20名
引率者 岳連理事4名 加盟団体会員1名
教員ボランティア1名
大学生ボランティア2名



2. 記録

天気 晴れ

9時 神戸市営地下鉄谷上駅 教室生 集合
谷上の街を東に進み、阪神高速北神戸線の橋脚下で休憩と地図読みの説明をする。
杉の植林が多い炭ケ谷を進む。
炭窯跡で「炭ケ谷」の名前や昔の六甲山の様子を説明する。
炭ケ谷を越えて石楠花山山頂を目指す。
途中、烏帽子岩と石楠花山の分岐点で間違えて烏帽子岩まで行き引き返して石楠花山山頂に向かう。



10時53分 石楠花山 山頂 着
石楠花山山頂で地図の説明をする。
石楠花山南の展望台で休憩と菊水山や鍋蓋山、4月に登った旗振山、鉄拐山などを遠望する。
黄連谷を下り、徳川道を経て桜谷出会に至る。



12時15分 桜谷出会 着
昼食休憩
12時50分 桜谷出会 発
長く続く桜谷の登山道に登る

13時48分 掬星台 着

14時10分 掬星台 発

上野道を下る。
途中、捻挫の教室生が出てコールドスプレー、テーピングの処置をする。
教室生にも疲れが見えるので慎重に下るよう注意をする。

15時45分 神戸登山研修所 着
研修所の外で簡単な反省会を開く。

16時 解散



3. 準備物

名札・地図（国土地理院地図をダウンロードしたもの）

4. 活動内容と感想

青い空が広がり天気もよく爽やかな風も吹いていた。5月の山登りに絶好の登山日和りだった。

杉林が黒々と茂り少し暗い登山道の炭ケ谷、木々の下に笹が生い茂る山道に行く石楠花山、美林の中を進む黄連谷、長い登りの桜谷、神戸の街を見ながら下りる上野道。六甲山系のいろんな顔が味わえるコースだった。

桜谷の登りは教室生にはしんどかったようだ。石交じりの歩きにくい山道が長く続き、所々急な登りもある登山道である。バテた教室生がでたので掬星台で少し横にならせて休ませた。

下山路の上野道で捻挫をした教室生がでた。コールドスプレーとテーピングで処置。そのため他のメンバーとは別に引率者と共にゆっくり歩いて下りた。下山途中で保護者と携帯で連絡をとって摩耶ケーブル下駅で合流した。

今回の山行で、解散場所の登山研修所当番（山岳連盟理事）と連絡を取りあうことにしていたのは良かった。捻挫をして別行動の教室生との対応がスムーズにいった。

今回のコースは教室生にとって少し厳しかったようだ。天気も良くそれほど暑くもなかった。歩いた距離は11.3kmで所要時間は6時間半。距離、時間は飛びぬけて厳しいと思わないがコースの構成が炭ケ谷、石楠花山、黄連谷なのでアップダウンの登山道の後に桜谷の長い登りとなりきつかったようだ。これからの山行に今回の経験を生かしていきたいと思う。

文責 大西

